

宿泊約款

第 1 条(適用範囲)

当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとし、

2.当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとし、

第 2 条(宿泊契約の申し込み)

当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

- (1)宿泊者名
- (2)宿泊日及び到着予定時刻
- (3)宿泊料金(原則として別表第 1 の宿泊料金による)
- (4)その他当ホテルが必要と認める事項

2.宿泊客が、宿泊中に前項第 2 号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

第 3 条(宿泊契約の成立等)

宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとし、ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2.当ホテルが、インターネットサイトに誤った宿泊料金を提示し、又は電話で誤った宿泊料金をご案内し、当該宿泊料金に基づき、宿泊料金の申し込みをされ、当ホテルが承諾した場合は、当該料金とその前後の期日の宿泊料金に比べて著しく低廉であるときは、当該料金につき「限定」、「特別」、「キャンペーン」等の低廉である理由の表示又はご案内のない限りは、民法上の錯誤による承諾であることから、宿泊契約は無効とさせていただきます、速やかにその旨の通知を差し上げます。

3.第 1 項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3 日を超えるときは 3 日間)の宿泊料金を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。

4.申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第 6 条及び第 18 条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第 12 条の規定による料金の支払いの際に返還します。

5.第 3 項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとし、

第4条(申込金の支払いを要しないこととする特約)

前条第3項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第3項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

第5条(宿泊契約締結の拒否)

当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると当ホテルが判断するとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると当ホテルが判断するとき。
 - イ、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ、暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ、法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
- (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (6) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に対する伝染等の可能性がある疾病に罹患している者であるか、又はその可能性があるかと当ホテルが判断するとき。
- (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (9) 都道府県が定める旅館業法施行条例の規定する場合に該当するとき。
- (10) 宿泊の申し込みをした者が、予約した部屋につき、転売や有料での斡旋など自己の利益を図る目的を秘して申し込みをしたとき。
- (11) 宿泊しようとする者が、過去に当ホテルとの間において、当ホテル関係者(役職員、宿泊客及び取引業者等を含むがこれらに含まれない)に対して何らかの問題を惹起したことがあるとき。
- (12) 以上に準じ、当ホテルが、宿泊しようとする者の宿泊を認めることを相当でないと判断するとき。

第6条(宿泊客の契約解除権)

宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第3項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合で

あって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます)は、別表第 2 に掲げる
ところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第 4 条第 1 項の特約に応じた場合にあ
っては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務につい
て、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。

3.当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後 10 時(あらかじめ到着予定時刻が明示
されている場合は、その時刻を 1 時間経過した時刻)になっても到着しないときは、当ホテルの任
意の判断によって、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。
かかる当ホテルの判断及び処理に対し、当該宿泊客は何らの主張も請求もすることができません。

第 7 条(当ホテルの契約解除権)

当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

(1)宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがある
と認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。

(2)宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。

イ、暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力

ロ、暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

ハ、法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの

(3)宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。

(4)宿泊客が他の宿泊客に対する伝染等の可能性がある疾病に罹患している者であるか、又はそ
の可能性があると当ホテルが判断するとき。

(5)宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。

(6)天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。

(7)都道府県が定める旅館業法施行条例の規定する場合に該当するとき。

(8)寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止
事項(火災予防上必要なものに限る)に従わないとき。

(9)宿泊客が、当ホテル関係者(役職員、宿泊客及び取引業者等を含むがこれらに含まれない)
に対して何らかの問題を惹起したとき。

(10)以上に準じ、当ホテルが、宿泊契約の維持を認めることを相当でないと判断するとき。

2.当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けてい
ない宿泊サービス等の料金はいただきません。

第 8 条(宿泊の登録)

宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

(1)宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業

(2)外国人にあつては、国籍、旅券番号、宿泊地及び後泊地(行先地)

(3)出発日及び出発予定時刻

(4)その他当ホテルが必要と認める事項

2.宿泊客が第 12 条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただき、当ホテルが相当と認める方法によってその記録を保持するほか、当ホテルが必要と認める場合には、当ホテルが相当と認める金額のデポジットを預からせて頂くことができます。

第 9 条(客室の使用時間)

宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、宿泊契約締結に際して当ホテルが決定し、宿泊客に提示した使用開始時刻(チェックイン可能時刻)から使用終了時刻(チェックアウト期限時刻)までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2.当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には、当ホテルが任意に定め、宿泊客に対して提示する追加料金を申し受けます。

第 10 条(利用規則の遵守)

宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

第 11 条(営業時間)

当ホテルの主な施設等の営業時間はパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクター等で御案内いたします。

2.前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

第 12 条(料金の支払い)

宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第 1 に掲げるところによります。

2.前項の宿泊料金等の支払いは、通貨(円)又は宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。

3.当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

第 13 条(当ホテルの責任)

当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により、悪意又は重過失によって宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。

2.当ホテルが本契約に基づいて負う損害賠償債務(債務不履行責任、不法行為責任、その他の法律上の責任のいずれであるかを問わない)の金額は、当該損害が生じた際に宿泊客が当ホテルに対し

て支払った宿泊料金等の総額(但し、消費税相当部分を除く)を上限とします。

3.当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

第 14 条(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

当ホテルは、当ホテルの責めに帰すべき事由によって宿泊客に契約した客室を提供できないときは、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。但し、宿泊客がかかる斡旋を希望せず、自ら他の宿泊施設を探索することを希望した場合には、この限りではありません。

2.当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。また、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

第 15 条(寄託物等の取扱い)

宿泊者がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、商法の規定にしたがい、当ホテルは、当ホテルの付保する保険約款に則り損害の賠償を致します。

2.宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品であってフロントにお預けにならなかったものについて滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルはその責任を負いかねます。ただし、当ホテルの悪意又は重過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、当ホテルの付保する保険約款に則り損害を賠償致します。

第 16 条(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡しします。

2.宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられ、これを当ホテルが発見した場合は、原則として発見日を含めて当ホテルが定める一定期間保管し、最寄りの警察署に届けます。

3.前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項の規定に準じるものとします。

第 17 条(駐車場の責任)

宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は重過失によって宿泊客の車両に損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

第 18 条(宿泊客の責任)

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

第 19 条(免責事項)

当ホテル内外からのコンピューター通信(当ホテルのネットワークやインターネット接続サービスを利用する場合を含むが、これに限られない)のご利用にあたりましては、宿泊客自身の責任にて行うものいたします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断したり、その他コンピューターウイルスに感染したりするなど、宿泊客がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。また、宿泊客によるコンピューター通信のご利用について、当ホテルや第三者等に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

第 20 条(本約款の変更)

当ホテルは、次に掲げる場合には、本約款の変更をすることにより、変更後の本約款の条項について合意があったものとみなし、個別に宿泊客と合意をすることなく宿泊契約の内容を変更することができるものとします。

(1)本約款の変更が、宿泊客の一般の利益に適合するとき

(2)本約款の変更が、宿泊契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、その他の変更に係る事情に照らして相当なものであるとき

2.当ホテルは、本約款の変更をするときは、その効力発生時期を定め、かつ、本約款を変更する旨及び変更後の本約款の内容並びにその効力発生時期を、インターネットの利用その他の適切な方法によって周知するものとします。

第 21 条(管轄裁判所)

宿泊契約に関して紛争が生じ、訴訟等の法的手続が必要となりました場合には、訴額に応じて、東京簡易裁判所又は東京地方裁判所をもって第 1 審の専属的合意管轄裁判所といたします。

(以下余白)

別表第 1 宿泊料金の内訳(第 2 条第 1 項及び第 12 条第 1 項関係)

宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	①客室料金 ③飲食及びその他の利用料金	②サービス料(①×10%) ④サービス料(③×10%)
	税金	①消費税 ②宿泊税(東京都)客室料金(①+②):1名あたり 10,000円未満:課税されません 10,000円以上 15,000円未満:100円 15,000円以上:200円	

備考 税法が改正された規定によるものとします。

別表第 2 違約金(第 6 条第 2 項関係)

ご予約を取り消される場合は、ご利用日を起算日として、下記の違約金を申し受けます。
尚、違約金はお見積り金額に対して算出いたします。

【ご宿泊】

項目		キャンセル受付日				
		不泊	当日	前日	9日前	20日前
宿泊	一般 14名まで	100%	80%	20%	—	—
	団体 15名~99名まで	100%	80%	40%	10%	—
	団体 100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

(注)

- 1、%は宿泊料金(①+②)に対する違約金の比率です。
- 2、契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を収受します。
- 3、団体客(15名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前(その日より後に申込をお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については、違約金はいただきません。

【宴会・会議室・レストラン】

項目	キャンセル受付日						
	当日	前日	前々日	3～7 日前	8～14 日前	15～30 日前	1～2 ヶ月前
会場	100%	80%	80%	50%	30%	20%	10%
食事	100%	50%	50%	—	—	—	—
宴会	100%	50%	50%	30%	20%	—	—

- 1、日数の算定は受付日の 17:00 までを当日扱いといたします。
- 2、会議室については 1 つから適用となります。
- 3、日程変更の場合も、①当該日程のキャンセル②他日程のご予約という手続きを取らせていただき、上記キャンセル規定の適用対象となります。
- 4、上記内容につきましては、変更の可能性がございますので、予めご了承ください。

ご利用規則

ホテルの公共性と安全性を維持するため、当ホテルのお客様には宿泊約款第 10 条に基づき、下記の条項をご遠慮していただきます。

この規則に定められた事項をお守りいただけない場合、宿泊のご継続及び館内施設のご利用をお断りさせていただくこともあります。

- 廊下及び客室内で暖房用、炊事用の火器及びアイロン等の持ち込みはご遠慮ください。

- ベッドの中など火災の原因となり易い場所での喫煙はご遠慮ください。(喫煙スペースは地下 1 階にございます)

- ご訪問客とのお部屋でのご面会をご遠慮ください。

- 次に掲げる組織、個人については、当ホテルのご宿泊及び館内諸施設のご利用をお断りします。
 - ㊸暴力団、暴力団員、暴力団関係団体及びその関係者
 - ㊹暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体の関係者
 - ㊺反社会的団体、反社会的団体員及びその関係者
 - ㊻暴行、傷害、脅迫、恐喝、暴力的要求行為又は合理的な範囲を超える負担の要求及びこれに類する行為が認められる場合
 - ㊼泥酔者等、他のお客様に著しく迷惑を及ぼす恐れがあると認められる者
 - ㊽ホテル利用規則の違反について、当ホテルより注意を受けて直ちにその行為を止めなかった者(1)前㊸から㊽に該当する場合は、その時点以降、一切のご利用をお断りさせていただきます。
(2)伝染病等他のお客様に不快感をあたえたり、迷惑をおかけしたりするような疾病をお持ちの方のご宿泊はお断りさせていただくことがあります。

- 館内及び客室内で声高、放歌又は喧騒な行為等で、他のお客様に不快感を与えたり、迷惑をかけたりすることは、ご遠慮ください。

- 廊下及び客室内に次のようなものを持ち込むことはご遠慮ください。
 - ㊶動物、鳥類等の生物あるいはペット類。
 - ㊷著しく多量の品物。
 - ㊸著しく悪臭を発するもの。
 - ㊹火薬や揮発油など発火或いは引火しやすいもの。
 - ㊺適法に所持を許可されていない鉄砲、刀剣類。
- 廊下及び客室内で賭博や風紀・治安を乱すような行為、他のお客様に迷惑となったり、不快感を

与えたりするような行為は、ご遠慮ください。

- 外来者を客室内に引入れたり、客室内の諸設備、諸物品などを使用させたりすることはご遠慮ください。
- 館内の諸設備、諸物品を移動、持ち出し又はその目的以外の用途に使用することはご遠慮ください。
- ホテルの建築物や諸設備に異物を取り付けたり、現状を変更したりするような加工をすることは、ご遠慮ください。
- ホテル内で他のお客様に広告物を配布したり、物品を販売したりすることは、ご遠慮ください。
- 廊下やロビーなどに所持品を放置することはご遠慮ください。
- 飲食物の出前はご遠慮ください。

大浴場利用規則

- 大浴場を利用される場合には、貴重品及びルームキー等は、ロッカーにその用途に従って収納していただくものとします。

- 貴重品及びルームキー等の盗難もしくは第三者がルームキー等を不正利用したことによって生じた損害については、当ホテルは責任を負いません。

- 入れ墨またはタトゥーのある方のご利用をお断りさせていただきます。

- 医師からご入浴を禁止されている方のご入浴はご遠慮ください。

- 泥酔、酒気を帯びている方のご入浴はご遠慮ください。

- おむつを着用されている方のご入浴はご遠慮ください。

- 混浴の年齢制限は原則として 6 歳までとさせていただきます。なお、ホテルが所在する自治体が条例等により個別に年齢制限を定める場合は、それに準じます。

- ロッカーの利用は、大浴場の利用時間内に限らせていただきます。
 - (1)大浴場の利用時間を過ぎましたら、全てのロッカー扉を開放させていただきます。
 - (2)大浴場の利用時間を過ぎた後にロッカー内に置き忘れた物につきましては、原則として発見日を含めて当ホテルが定める一定期間保管し、最寄りの警察署に届けます。

Accommodation Contract

Article 1 - Scope of Application

01.01. The Accommodation Contract and related contracts to be concluded between our Hotel and the Guest shall be based on this Contract under the following terms and conditions of our Contract.

Any matter not stipulated in this Contract shall be governed by ordinance and generally established practice.

01.02. When our Hotel has agreed to conclude a Special Contract without conflicting with ordinance and established practice, the said Special Contract shall prevail.

Article 2 - Application for an Accommodation Contract

02.01. The Guest who intends to apply to our Hotel for an Accommodation Contract will be required to provide our Hotel with the following particulars:

- (1) Name(s) of Guest(s) to be registered.
- (2) Date(s) scheduled for overnight stay and estimated time of arrival.
- (3) Accommodation charge (according, in principle, to the basic accommodation charges described in the attached Schedule I).
- (4) Other information considered necessary by our Hotel.

02.02. In the case that the Guest has requested, during his/her stay, an extension of an overnight stay beyond the date described in the preceding Paragraph (2) above, our Hotel shall handle his/her request as a new application for an Accommodation Contract which has been made at the point in time when the said request has been made.

Article 3 - Conclusion, etc. of the Accommodation Contract

03.01. The Accommodation Contract shall be considered to have been concluded at the time when our Hotel has accepted the application described in the preceding Article, unless our Hotel has certified that our Hotel has not accepted the said application.

03.02. If our Hotel presents an incorrect accommodation charge on an Internet website or quotes an incorrect accommodation charge over the phone, and our Hotel accepts the Guest's application based on said accommodation charge, if said charge is considerably lower than accommodation charges for the dates before and after the period, unless the low charge was presented or quoted for reasons of being a "limited", "special" or "campaign" rate, the Accommodation Contract shall become invalid for reasons of it having been accepted in error under the Civil Code, and our Hotel shall immediately notify the Guest to that effect.

03.03. When the Accommodation Contract has been concluded under the provision of

Paragraph 1, the Application Money payable for the period scheduled for overnight stay as prescribed by our Hotel shall be paid by the date set by us, up to the maximum amount equal to the basic accommodation charge for 3 days in cases where the period scheduled for overnight stay exceeds 3 days.

03.04. The Application Money shall first be applied to the final payment of the Accommodation Charge payable, and when the circumstances requiring application of the provisions of Article 6 and Article 18 have arisen, to penalty and then to compensation money in this order. If there is any balance left it will be repaid at the time when the Accommodation Charge is paid as provided in Article 12.

03.05. In the case that the Application Money described in Paragraph 3 of this Article has not been paid by the date set by us as stipulated in the same Paragraph, the Accommodation Contract shall become invalid.

Article 4 - Special Contract Requiring Non-Payment of the Application Money

04.01. Notwithstanding the provision of the preceding Article, Paragraph 3, there are cases where our Hotel accept a Special Contract which does not require payment of the Application Money specified in the said Paragraph after the conclusion of the Contract.

04.02. When accepting an application for an Accommodation Contract, in the case that our Hotel fails to request payment of the Application Money specified in the preceding Article, Paragraph 3, and/or in the case that it fails to prescribe the due date for payment of the said Application Money, the Special Contract described in the preceding Paragraph shall be considered to have been accepted.

Article 5 - Refusal of the Conclusion of the Accommodation Contract

05.01. The following are cases where our Hotel will not accept the conclusion of the Accommodation Contract:

- (1) When application for accommodation is not based on this Contract.
- (2) When there is no room available due to full occupancy.
- (3) When our Hotel determines that the Guest seeking accommodation is likely to behave in violation of the provisions of the ordinance, public order or good public morals.
- (4) When our Hotel determines that the Guest seeking accommodation corresponds to the following (a) to (c).
 - (a) The law in respect to prevention, etc. against illegal actions by gang members (1991 Law item 77) stipulated article 2 item 2 (hereinafter referred to as "gang group."), gang member stipulated by the same law article 2 item 6 (hereinafter referred to as "gang member."), gang group semi-regular members or gang member related persons and other antisocial forces.

- (b) When gang group or gang members are associates of corporations or other bodies to control business activities.
- (c) When a corporate body has related persons to gang members.
- (5) When the guest seeking accommodation behaves extremely in a mischievous way against other hotel guests.
- (6) When our Hotel determines that the Guest seeking accommodation has contracted a disease that may be transmitted to other guests, or that this possibility exists.
- (7) When the guest seeking accommodation, a violent requesting act is carried out, or demanded a burden beyond the reasonable purview.
- (8) When act of God, trouble with facilities, and other unavoidable causes prevent the Guest from staying at our Hotel.
- (9) When falling under any of the cases stipulated in prefectural Ordinances for Enforcement of the Hotel Business Act.
- (10) When the Guest who has applied for accommodation has secretly applied for the purposes of personal profit, such as through resale or paid brokerage of the reserved room.
- (11) When the Guest seeking accommodation has caused some problem in the past for persons at our Hotel (including, but not limited to, hotel executives or staff, other guests, trading partners, etc.).
- (12) When our Hotel determines that it is not appropriate to allow the Guest seeking accommodation to stay, for reasons equivalent to the above.

Article 6 - The Guest's Right to Cancel the Contract

06.01. The Guest may request our Hotel to cancel the Accommodation Contract.

06.02. In the case that the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes attributable to him/her (which is the case when our Hotel has requested payment of the Application Money by prescribing the date due for such payment under the provision of Article 3, Paragraph 3, except in the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract prior to such payment), payment of penalty shall be required as specified in the attached Table 2, but in the case that our Hotel has accepted a Special Contract described in Article 4, Paragraph 1 this provision shall be applied only to the case where our Hotel has notified the Guest of his/her responsibility to pay a penalty for cancellation of the Contract when accepting the Special Contract.

06.03. In the case that the Guest does not arrive by 10:00 p.m. on the day of an overnight stay without informing our Hotel of a delay (or after the lapse of one hours past the scheduled time of arrival if indicated by the Guest beforehand), at the discretion of our Hotel, the Accommodation Contract concerned may be considered to have been cancelled by the Guest

and will be handled accordingly. The Guest may not make any claims or demands against the judgment or processing undertaken by our Hotel.

Article 7 - The Right of Our Hotel to Cancel the Contract

07.01. The following are cases where our Hotel may cancel the Accommodation Contract:

(1) When the Guest is considered likely to behave in violation of the provisions of the ordinance, public order or good public morals, or he/she is considered to have behaved in such a manner.

(2) When the Guest is clearly considered to be corresponding to the following (a) to (c).

(a) Gang group, gang group semi-regular members or gang member related persons and other antisocial forces.

(b) When a corporate body or other organization where gang groups or gang members control business activities.

(c) In a corporate body which has persons relevant to gang member in its board member.

(3) When the Guest in accommodation behaves extremely in a mischievous way against other hotel guests.

(4) When our Hotel determines that the Guest has contracted a disease that may be transmitted to other guests, or that this possibility exists.

(5) When having accommodation, a violent action is carried out, or demanded a burden beyond reasonable purview.

(6) When unavoidable causes, such as act of God, etc., prevent the Guest from staying at our Hotel.

(7) When falling under any of the cases stipulated in prefectural Ordinances for Enforcement of the Hotel Business Act.

(8) When the Guest smokes in bed or vandalizes fire protection facilities, or does not comply with the matters prohibited by our Hotel (limited only to those matters necessary for fire prevention) among the rules of use prescribed by our Hotel.

(9) When the Guest has caused some problem in the past for persons at our Hotel (including, but not limited to, hotel executives or staff, other guests, trading partners, and so on).

(10) When our Hotel determines that it is not appropriate to uphold the Accommodation Contract, for reasons equivalent to the above.

07.02. In cases where our Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the provision of the preceding Paragraph, charges for accommodation service, etc. which have not yet been offered to the Guest shall not be receivable.

Article 8 - Registration of Accommodation

08.01. The Guest will be required to register the following particulars at the front desk of our Hotel:

- (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest.
- (2) In the case of a foreign national, nationality, passport number, previous and subsequent place of stay (destination)
- (3) Scheduled date and time of departure.
- (4) Other particulars considered necessary by our Hotel.

08.02. In the case that the Guest intends to pay the charges described in Article 12 by using such means in place of currency as traveler's checks, accommodation coupons, credit card, etc., he/she will be required to show them at the time of registration described in the preceding Paragraph; and in addition to keeping records in a manner that our Hotel deems appropriate, a monetary deposit may be required in an amount that our Hotel deems appropriate, if our Hotel deems it necessary.

Article 9 - Time Allowed for Use of the Guest room

09.01. The time allowed for the Guest to use the guest room of our Hotel is determined by our Hotel at the time of concluding the Accommodation Contract, and shall be from the start time (possible check-in time) to the end time (final check-out time) presented to the Guest, except when the Guest stays for more than one night in succession, in which case the Guest may use the guest room all day except the day of arrival and the day of departure.

09.02. Notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, there are cases where our Hotel may accept the use of the guest room in hours other than those specified in the preceding Paragraph, in which case an additional charge will be set at the discretion of our Hotel and presented to the Guest.

Article 10 - Compliance of the Rules of Use of the Hotel

10.01. While staying in our Hotel the Guest will be required to comply with the Rules of Use posted inside our Hotel as prescribed by us.

Article 11 - Business Hours

11.01. The business hours of principal facilities in our Hotel are explained in the pamphlet provided, displays at major points inside our Hotel, and the service directory provided in each guest room.

11.02. The service hours described in the preceding Paragraph may be changed temporarily for unavoidable reasons, in which case the Guest will be notified by proper means.

Article 12 - Payment of Charges

12.01. The breakdown of the accommodation charge, etc. payable by the Guest shall be as listed in the attached Schedule I.

12.02. Payment of the accommodation and other charges under the preceding paragraph is to be made in cash (yen), accommodation voucher, credit card or other manner at the front desk at the time of check-out or upon being invoiced by the Hotel.

12.03. In the case that the Guest has not stayed at our Hotel at his/her discretion even after we have offered the guest room to the Guest and made it available for him/her to use, the accommodation charge will still be charged.

Article 13 - Responsibility of Our Hotel

13.01. In the case that due to malicious intent or gross negligence we have inflicted damage on the Guest in the course of fulfilling the Accommodation Contract and related Contracts or in breach of these Contracts, we shall compensate for the said damage.

13.02. In the event of such damages, the upper limit of liability for these damages (whether default liability, tort liability, or other legal liability) owed by our Hotel under this Contract shall be the total amount of accommodation charges, etc. paid by the Guest to our Hotel (excluding the portion equivalent to consumption tax) when those damages occurred.

13.03. Our Hotel is covered by the Hotel liability insurance to cope with emergencies in the case of fire, etc.

Article 14 - Handling in Case the Guest Room Contracted Is Not Available

14.01. Should the guest room contracted for the Guest under the Accommodation Contract become unavailable for him/her for reasons attributable to our Hotel, our Hotel shall try to offer other accommodation facilities under the same conditions as the original Accommodation Contract as far as possible, subject to the consent of the Guest concerned. However, this shall not apply if the Guest does not desire such an arrangement and wishes to independently explore other options for accommodations.

14.02. Notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, in cases where we are unable to offer other accommodation facilities to the Guest, we shall pay to him/her a compensation charge equivalent to the penalty, which will be applied to the amount of the compensable damage. Also, in cases where there is no cause attributable to us for not being able to offer the guest room, we shall not pay the compensation charge.

Article 15 - Handling of Checked Articles, etc.

15.01. Except when caused by a force majeure event, articles that guests leave in custody with the front desk that are lost, damaged or destroyed shall be covered under insurance maintained by the Hotel, in accordance with the provisions of commercial law.

15.02. The Hotel shall assume no liability for any damage or destruction experienced by articles brought into the Hotel by guests but are not left in custody with the front desk; provided, however, that, if such loss, damage or destruction is the result of malicious intent or gross negligence on the part of the Hotel, the Hotel shall cover the same under insurance it maintains.

Article 16 - Custody of the Baggage or Personal Belongings of the Guest

16.01. When the baggage of the Guest has arrived at our Hotel prior to his/her arrival, our Hotel will keep it subject to our agreement given prior to its arrival, and will hand it to the Guest at the time when he/she checks in at the front desk.

16.02. In principle, if a guest mistakenly leaves hand-carried luggage or portable articles at the Hotel after checking out and these are discovered by the Hotel, the Hotel shall store the same for a specific period of time determined by the Hotel, beginning on the day of its discovery, and then file a report with the local police department.

16.03. The responsibility of our Hotel regarding the custody of the Guest's baggage or personal belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall conform to the provision of the preceding Article, Paragraph 1, in the case of Paragraph 1 of this Article and to the provision of the preceding Article, Paragraph 2, in the case of the preceding Paragraph.

16.02.

Article 17 - Responsibility for Parking

17.01. When the Guest uses the parking area of our Hotel, our Hotel only lends the parking area and does not assume responsibility for care and custody of the vehicle parked, regardless of whether or not our Hotel has been asked to keep the key to the vehicle. However, our Hotel shall be liable for compensation if and when the Guest's vehicle is damaged intentionally or through gross negligence by our Hotel while keeping the parking area under our control.

Article 18 - Responsibility of the Guest

18.01. In the case that our Hotel has suffered damage due to the intention or fault of the Guest, the guest will be required to compensate to our Hotel for the said damage.

Article 19 - Exclusions

Guests using computer communication, whether inside or outside the Hotel (including, but not limited to, when using the Hotel's network or Internet connection services), do so at their own liability, and the Hotel assumes no liability whatsoever for any damages experienced by Guests resulting from an interruption of service during computer communication because of system failure, infection with computer viruses, or any other reason. Furthermore, if the Hotel or any third parties incur damages resulting from use of computer communication by a Guest, the Guest shall make restitution for such damages.

Article 20 - Changes to this Contract

In the following cases, our Hotel considers that if any changes are made to this Contract, agreement has been given to the terms of this Contract following the changes, and it may change the content of the Accommodation Contract without individually seeking the agreement of each Guest.

- (1) When the changes to this Contract are in the general interest of the Guest
 - (2) When the changes to this Contract do not run counter to the purposes of the Accommodation Contract and are reasonable in light of the necessity of the changes, the appropriateness of the changed content, and other circumstances related to the changes.
2. When our Hotel makes changes to this Contract, it shall determine the time these changes shall take effect, and using appropriate methods such as the Internet or other means, it shall make publicly known the fact that this Contract will be changed, the content of this Contract after the changes, and the time these changes shall take effect.

Article 21 - Court of Jurisdiction

If any dispute arises regarding the Accommodation Contract that requires legal proceedings such as litigation, depending on the amount of the claim either the Tokyo Summary Court or the Tokyo District Court shall be the exclusive jurisdictional court of first instance.

(Remainder of this page intentionally left blank)

Table 1 Breakdown of Accommodation Charge (concerning Article 2-1 and 12-1)

Total Amount Payable by Guests	Accommodation Charge	①Room charge	②service fee (①×10%)
		③Food and other service fees	④service fee (③×10%)
	Tax	㊦Consumption tax ㊧Lodging tax(Tokyo)room charge (①+②) : per person under ¥10,000 : None ¥10,000-under ¥15,000 : ¥100 ¥15,000 and above : ¥200	

Note, amounts may be subject to change in response to amendment of the tax laws.

Table 2 Penalty (concerning Article 6-2) for Hotels

In the event of cancellation of a reservation, the following cancellation fees will apply, calculated starting from the date of use.

The cancellation fee will be calculated based on the quoted price.

【STAY】

Day of Contract Cancellation		No. of Payable by Guests				
		No arrival	Same day	Previous day	9 days before	20 days before
Ordinary	14 or less	100%	80%	20%	-	-
	15-99	100%	80%	40%	10%	-
Group	100 or more	100%	100%	80%	20%	10%

Note,

(1) The percentage is the percentage of the Penalty against the Basic Accommodation Charge(①+②).

(2) In the case that the number of days for accommodation has been reduced, Penalty for One Day (first day) shall be charged, regardless of the number of days reduced.

(3) In the case that the Accommodation Contract has been cancelled for a part of the Group (consisting of 15 members or more), the Penalty charged shall be for the number of the Group members equal to 10% (with fractions rounded up to the next whole number) of the total number of the Group members booked for accommodation as of 10 days prior to the first day of occupancy (or the day when the Accommodation Contract has been accepted in less than 10 days prior to the first day of occupancy).

【Banquets, meeting rooms, restaurants】

Item	Cancellation date						
	Same day	Day before	Two days before	3-7 days before	8-14 days before	15-30 days before	1 to 2 months before
Venue	100%	80%	80%	50%	30%	20%	10%
Meals	100%	50%	50%	-	-	-	-
Banquets	100%	50%	50%	30%	20%	-	-

Note,

1. In the calculation of the number of days, up to 5:00 p.m. on the day of reservation will be treated as the same day.
2. For conference rooms, it will apply to one room or more.
3. In the event of a date change, the above cancellation policy will be applied to the following procedures: (1) cancellation of the date in question, and (2) reservation of another date.
4. Please note that the above information is subject to change.

Use regulations

To maintain the public nature and safety of the hotel, we request that our guests abide with the following items based on Article 10 of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts.

If the items stipulated here are not complied with, in some cases guests will not be permitted to continue to stay at the hotel or to use hotel facilities.

- Please refrain from bringing combustibles for heating or cooking purposes or irons into hallways or guest rooms.

- Please refrain from smoking in areas susceptible to fire, such as in beds.

- Please refrain from having visitors in guest rooms.

- The following organizations and individuals are not permitted to stay at the hotel or use hotel facilities.

- (a) An organized crime group, organized crime group member, organization affiliated with an organized crime group, or other related party.

- (b) A corporation or other organization whose business activity is controlled by an organized crime group or organized crime group member.

- (c) An antisocial organization, antisocial organization member, or related party.

- (d) An organization and individual that commit violence, assaults, threats, blackmail, violent demand; demand compensation beyond a reasonable scope; or that are deemed to have committed equivalent acts.

- (e) An individual deemed as likely to cause a considerable nuisance to other customers, such as extremely inebriated customer.

- (f) An individual who fails to immediately stop violation of regulations upon the request of the hotel.

- (1) If (a) through (d) above apply, the guest will not be permitted to use the hotel facilities from that point onward.

- (2) Guests with diseases such as communicable diseases that may cause discomfort or a disturbance for other guests may be prohibited from staying at the hotel in some cases.

- Please refrain from speaking in a loud voice, singing loudly, fighting, or other similar acts that may cause discomfort or a disturbance for other guests in the hotel and guest rooms.

· Please refrain from bringing the following items in hallways and guest rooms.

(1) Living things or pets such as animals and birds

(2) Extremely large quantities of items

(3) Items that emit extremely unpleasant odors

(4) Combustible or highly flammable items such as explosives or volatile oils

(5) Firearms or knives that are illegal to possess

· Please refrain from gambling, acts that disrupt public morals or security, or other acts that may cause discomfort or a disturbance for other guests in the hotel and guests room.

· Please refrain from inviting visitors into guest rooms or allowing them to use the facilities and objects inside guest rooms.

· Please refrain from moving taking out, or using equipment and items in the hotel for purpose other than their intended purpose.

· Please refrain from attaching foreign objects to hotel structures and equipment or processing in a manner that changes their original condition.

· Please refrain from distributing advertisements or selling goods to other guests in the hotel.

· Please refrain from leaving personal possessions in locations such as the hallway or the lobby.

· Please refrain from using delivery services for food and beverages.

Large Public Bath Terms of Service

- When using the large public bath, valuables, room keys, etc., must be stored in lockers according to their intended use.

- The hotel shall not be liable for any damages arising out of the theft of valuables or room keys, etc., or unauthorized use of room keys, etc. by a third party.

- Guests with tattoos will not be permitted to use the large public bath.

- Please refrain from taking a bath if you have been prohibited from taking baths by your doctor.

- Please refrain from bathing if you are drunk or under the influence of alcohol.

- Please refrain from bathing if you are wearing a diaper.

- As a general rule, the age limit for mixed bathing is 6 years old. If the municipality in which the hotel is located has stipulated separate age restrictions by ordinance, etc., such restrictions will apply accordingly.

- Lockers may only be used during the hours of use of the large public bath.
 - (1) All locker doors will be opened after the time of use of the large public bath has passed.
 - (2) As a general rule, items left in lockers after the time of use of the large public bath has passed will be kept for a certain period of time determined by the hotel, including the day they are found, and will be reported to the nearest police station.